

令和7年度 評価規準

学校名：江戸川区立篠崎第二小学校

教科	理科	学年	3	
単元名		時数	単元のまとまりの評価規準	
しぜんのかんさつ	4	知・技	生物の姿について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。	
		思・判・表	生物は、色、形、大きさなど、姿に違いがあることを理解している。	
		学び	生物の姿について、差異点や共通点を基に、問題を見だし、表現するなどして問題解決している。	
たねまき	6	知・技	生物の姿について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決して	
		思・判・表	生物の姿についての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。	
		学び	生物の姿について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。	
こん虫の育ち方	10	知・技	子葉が出た後の植物の育ち方について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。	
		思・判・表	植物の体は根、茎及び葉からできていることを理解している。	
		学び	植物の育ち方について、差異点や共通点を基に、問題を見だし、表現するなどして問題解決している。	
葉がふえたころ	1	知・技	身の回りの生物についての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。	
		思・判・表	昆虫の成長について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。	
		学び	成虫の体は頭、胸及び腹からできていることを理解している。	
ゴムと風の力のはたらき	7	知・技	昆虫の育ち方には一定の順序があることを理解している。	
		思・判・表	昆虫の成長について、差異点や共通点を基に、問題を見だし、表現するなどして問題解決している。	
		学び	昆虫の体のつくりについて、差異点や共通点を基に、問題を見だし、表現するなどして問題解決している。	
葉がふえたころ	1	知・技	身の回りの生物についての事物・事象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。	
		思・判・表	昆虫の成長や体のつくりについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。	
		学び	昆虫の成長や体のつくりについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。	
ゴムと風の力のはたらき	7	知・技	ゴムの力の働きについて、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。	
		思・判・表	ゴムの力は、物を動かすことができること、また、ゴムの力の大きさを変えると、物が動く様子も変わることを理解している。	
		学び	風のはたらきについて、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。	
ゴムと風の力のはたらき	7	知・技	風のはたらきについて、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。	
		思・判・表	ゴムの力の働きについての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。	
		学び	ゴムの力の働きについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。	
ゴムと風の力のはたらき	7	知・技	ゴムの力の働きについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。	
		思・判・表	ゴムと風の力の働きについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。	
		学び	ゴムと風の力の働きについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。	

令和7年度 評価規準

学校名：江戸川区立篠崎第二小学校

音のふしぎ	6	知・技	音の性質について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 物から音が出るとき、物は震えていること、また、音の大きさが変わるとき物の震え方が変わることを理解している。
		思・判・表	物から音が伝わる時、物は震えていることを理解している。 音の性質について、差異点や共通点を基に、問題を見だし、表現するなどして問題解決している。
		学び	音の性質について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 音の性質についての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。
花	2	知・技	音が伝わる時、物は震えていることを理解している。 音の性質について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。
動物のすみか	5	知・技	音が伝わる時、物は震えていることを理解している。 音の性質について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。
		思・判・表	音が伝わる時、物は震えていることを理解している。 音の性質について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。
		学び	音が伝わる時、物は震えていることを理解している。 音の性質について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。
花がさいた後	4	知・技	音が伝わる時、物は震えていることを理解している。 音の性質について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。
		思・判・表	音が伝わる時、物は震えていることを理解している。 音の性質について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。
		学び	音が伝わる時、物は震えていることを理解している。 音の性質について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。
地面のようすと太陽	10	知・技	音が伝わる時、物は震えていることを理解している。 音の性質について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。
		思・判・表	音が伝わる時、物は震えていることを理解している。 音の性質について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。
		学び	音が伝わる時、物は震えていることを理解している。 音の性質について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。

令和7年度 評価規準

学校名：江戸川区立篠崎第二小学校

太陽の光	7	知・技	太陽と地面の様子について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。
			日光は直進し、集めたり反射させたりできることを理解している。
		思・判・表	光の性質について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。
			物に日光を当てると、物の明るさや暖かさが変わることを理解している。
学び	光の性質について、差異点や共通点を基に、問題を見だし、表現するなどして問題解決している。		
	光の性質について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決して		
電気の通り道	9	知・技	光の性質についての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。
			光の性質について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。
		思・判・表	電気を通すつなぎ方と通さないつなぎ方があることを理解している。
			電気を通すつなぎ方について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。
学び	電気を通す物と通さない物があることを理解している。		
	電気の回路について、差異点や共通点を基に、問題を見だし、表現するなどして問題解決している。		
じしゃくのふしぎ	8	知・技	電気の回路について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決し
			電気を通すつなぎ方についての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしてい
		思・判・表	電気の回路について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。
			磁石に引き付けられる物と引き付けられない物があることを理解している。
学び	磁石の性質について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。		
	磁石の異極は引き合い、同極は退け合うことを理解している。		
ものの重さ	6	知・技	磁石に近付けると磁石になる物があることを理解している。
			磁石の性質について、差異点や共通点を基に、問題を見だし、表現するなどして問題解決している。
		思・判・表	磁石の性質について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決して
			磁石の性質について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。
学び	物の性質についての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。		
	物の性質について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。		

令和7年度 評価規準

学校名：江戸川区立篠崎第二小学校

教科	理科	学年	4	
単元名		時数	単元のまとまりの評価規準	
春の始まり		1	学び	身近な動物や植物についての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。
天気と気温		7	知・技	天気について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 天気によって1日の気温の変化の仕方に違いがあることを理解している。
			思・判・表	天気について見いだした問題について、既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。 天気について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。
			学び	天気についての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 天気について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。
春		7	知・技	春の身近な動物の活動について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 春の身近な植物の成長について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 春の育てている植物の成長について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。
			思・判・表	身近な動物や植物について見いだした問題について、既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。
			学び	春の身近な動物や植物についての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとして
電池のはたらき		9	知・技	乾電池のつなぎ方を変えると、電流の向きが変わり、モーターの回り方が変わることを理解している。 電流の働きについて、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 乾電池の数やつなぎ方を変えると、電流の大きさが変わり、豆電球の明るさやモーターの回り方が変わることを理解している。
			思・判・表	電流の働きについて、既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。 電流の働きについて、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決して
			学び	電流の働きについての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 電流の働きについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。
とじこめた空気や水		6	知・技	空気の性質について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 閉じ込めた空気を圧すと、体積は小さくなるが、押し返す力は大きくなることを理解している。 閉じ込めた空気は押し縮められるが、水は押し縮められないことを理解している。
			思・判・表	空気の性質について、既習の内容や生活経験を基に根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。 水の性質について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決して
			学び	空気の性質についての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。

令和7年度 評価規準

学校名：江戸川区立篠崎第二小学校

夏	5	知・技	<p>空気と水の性質について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。</p> <p>夏の身近な動物の活動について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。</p>
星の明るさや色	3	知・技	<p>星の特徴について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。</p> <p>空には、明るさや色の違う星があることを理解している。</p>
		思・判・表	<p>星の特徴について、既習の内容や生活経験を基に根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。</p>
夏の終わり	3	知・技	<p>夏の終わりの身近な動物の活動について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。</p> <p>夏の終わりの身近な植物の成長について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。</p> <p>夏の終わりの育てている植物の成長について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。</p>
		知・技	<p>水は、高い場所から低い場所へと流れて集まることを理解している。</p> <p>雨水の行方と地面の様子について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。</p> <p>水のしみ込み方は、土の粒の大きさによって違いがあることを理解している。</p> <p>自然界の水の様子について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。</p> <p>水は、水面や地面などから蒸発し、水蒸気になって空気中に含まれていくことを理解している。</p> <p>空気中の水蒸気は、結露して再び水になって現れることがあることを理解している。</p>
雨水のゆくえ	10	思・判・表	<p>雨水の行方と地面の様子について見いだした問題について、既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。</p> <p>雨水の行方と地面の様子について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。</p> <p>自然界の中の水の様子について見いだした問題について、既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。</p>
		学び	<p>自然界の水の様子についての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。</p> <p>雨水の行方と地面の様子についての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとし</p> <p>雨水の行方と地面の様子、自然界の水の様子について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。</p>
月と星の位置の変化	8	知・技	<p>月の特徴について、器具や機器をなど正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。</p> <p>月は日によって形が変わって見え、1日のうちでも時刻によって位置が変わることを理解している。</p> <p>星の集まりは、1日のうちでも時刻によって、並び方は変わらないが、位置が変わることを理解している。</p>
		思・判・表	<p>月の特徴について見いだした問題について、既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。</p>

令和7年度 評価規準

学校名：江戸川区立篠崎第二小学校

		思・判・表	星の特徴について見いだした問題について、既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。
		学び	星の特徴について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決して月の特徴についての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。
			月や星の特徴について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。
わたしたちの体と運動	9	知・技	人の体には骨と筋肉があることを理解している。 人や他の動物の体について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 人が体を動かすことができるのは、骨、筋肉の働きによることを理解している。
		思・判・表	人や他の動物の体について、既習の内容や生活経験を基に根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。 人や他の動物の体について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。
		学び	人や他の動物の体についての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 人や他の動物の体について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。
秋	3	知・技	秋の身近な動物の活動について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 秋の身近な植物の成長について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 秋の育てている植物の成長について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。
		知・技	空気は、温めたり冷やしたりすると、その体積が変わることを理解している。 水は、温めたり冷やしたりすると、その体積が変わることを理解している。 金属の性質について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 金属、水及び空気は、温めたり冷やしたりすると、それらの体積が変わるが、その程度には違いがあることを理解している。
		思・判・表	空気の性質について、既習の内容や生活経験を基に根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。 金属の性質について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決し
ものの温度と体積	8	知・技	空気、水及び空気の温度と体積の変化について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 金属、水及び空気の温度と体積の変化について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。
		思・判・表	空気の性質についての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 空気の温度と体積の変化について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。
		学び	金属、水及び空気の温度と体積の変化について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。
冬の星	2	学び	星についての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 星について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。
			冬の身近な動物の活動について、器具や機器を正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。

令和7年度 評価規準

学校名：江戸川区立篠崎第二小学校

冬	5	知・技	冬の身近な植物の成長について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。
		知・技	冬の育てている植物の成長について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。
		知・技	動物の活動は、暖かい季節、寒い季節などによって違いがあること、また、植物の成長は、暖かい季節、寒い季節などによって違いがあることを理解している。
		思・判・表	身近な動物や植物について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。
		学び	身近な動物や植物について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。
もののあたたまり方	8	知・技	金属の性質について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。
		知・技	金属は熱せられた部分から順に温まることを理解している。
		知・技	水は熱せられた部分が移動して全体が温まることを理解している。
		知・技	空気は熱せられた部分が移動して全体が温まることを理解している。
		思・判・表	金属の性質について、既習の内容や生活経験を基に根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。
		思・判・表	水の性質について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決して
		学び	金属の性質についての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。
		学び	金属、水及び空気の温まり方について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。
すがたを変える水	8	知・技	水の性質について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。
		知・技	水は、温度によって水蒸気になることを理解している。
		知・技	水は、温度によって水蒸気や氷になることを理解している。
		思・判・表	水の性質について、既習の内容や生活経験を基に根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。
		思・判・表	水の性質について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決して
		学び	水の性質についての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。
		学び	水の体積や状態の変化について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。
春のおとずれ	1	学び	身近な動物や植物について一年間を通して学んだことを学習や生活に生かそうとしている。

令和7年度 評価規準

学校名：江戸川区立篠崎第二小学校

教科	理科	学年	5	
単元名		時数	単元のまとまりの評価規準	
1. 天気の変化		10	知・技	<p>天気の変化の仕方について、観察、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。</p> <p>天気の変化は、雲の量や動きと関係があることを理解している。</p> <p>天気の変化は、映像などの気象情報を用いて予想できることを理解している。</p>
			思・判・表	<p>天気の変化の仕方について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。</p> <p>天気の変化の仕方について見いだした問題について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。</p>
			学び	<p>天気の変化の仕方についての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。</p> <p>天気の変化の仕方について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。</p>
2. 植物の発芽と成長		12	知・技	<p>植物の発芽には、水、空気及び温度が関係していることを理解している。</p> <p>植物の発芽について、観察、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。</p> <p>植物は、種子の中の養分を基にして発芽することを理解している。</p> <p>植物の成長には、日光や肥料などが関係していることを理解している。</p>
			思・判・表	<p>植物の発芽について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。</p> <p>植物の成長について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。</p>
			学び	<p>植物の発芽についての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。</p> <p>植物の発芽と成長について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。</p>
3. メダカのたんじょう		11	知・技	<p>魚には雌雄があることを理解している。</p> <p>魚の発生や成長について、観察、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。</p> <p>生まれた卵は日がたつにつれて中の様子に変化してかえることを理解している。</p>
			思・判・表	<p>魚の発生や成長について見いだした問題について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。</p> <p>魚の発生や成長について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。</p>
			学び	<p>魚の発生や成長についての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。</p> <p>魚の発生や成長について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。</p>
			知・技	<p>台風が近づいたときの天気の変化の仕方について、観察、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。</p> <p>天気の変化は映像などの気象情報を用いて予想できることを理解している。</p> <p>台風の進路は天気の変化の規則性が当てはまらないこと、また、台風がもたらす降雨は短時間に多量になることを理解している。</p>

令和7年度 評価規準

学校名：江戸川区立篠崎第二小学校

4. 台風と防災	4	思・判・表	台風が近づいたときの天気の変化の仕方について見いだした問題について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。
		学び	台風が近づいたときの天気の変化の仕方について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。
5. 植物の実や種子のでき方	7	知・技	植物の結実について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。
		思・判・表	植物の結実について、観察、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。
6. 流れる水のはたらきと土地の変化	14	知・技	花にはおしべやめしべなどがあり、花粉がめしべの先に付くとめしべのもとが実になり、実の中に種子ができることを理解している。
		思・判・表	植物の結実について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決し
7. もののとけ方	13	知・技	植物の結実についての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしてい
		思・判・表	植物の結実について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。
6. 流れる水のはたらきと土地の変化	14	知・技	流れる水には、土地を侵食したり、石や土などを運搬したり堆積させたりする働きがあることを理解してい
		思・判・表	川の上流と下流によって、川原の石の大きさや形に違いがあることを理解している。
7. もののとけ方	13	知・技	雨の降り方によって、流れる水の量や速さは変わり、増水により土地の様子が大きく変化する場合があることを理解している。
		思・判・表	流れる水の働きと土地の変化について、観察、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。
7. もののとけ方	13	知・技	流れる水の働きと土地の変化について見いだした問題について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。
		思・判・表	流れる水の働きと土地の変化について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。
7. もののとけ方	13	知・技	流れる水の働きと土地の変化についての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。
		思・判・表	流れる水の働きと土地の変化について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。
7. もののとけ方	13	知・技	物が水に溶けても、水と物を合わせた重さは変わらないことを理解している。
		思・判・表	物が水に溶ける量には、限度があることを理解している。
7. もののとけ方	13	知・技	物が水に溶ける量は水の温度や量、溶ける物によって違うことを理解している。
		思・判・表	物の溶け方について、観察、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。
7. もののとけ方	13	知・技	溶けている物を取り出すことができることを理解している。
		思・判・表	物の溶け方について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。
7. もののとけ方	13	知・技	物の溶け方について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決し
		思・判・表	物の溶け方について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。
7. もののとけ方	13	知・技	物の溶け方についての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしてい
		思・判・表	物の溶け方について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。

令和7年度 評価規準

学校名：江戸川区立篠崎第二小学校

8. ふりこの性質	10	知・技	物の溶け方について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 振り子の運動の規則性について、観察、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。 振り子が1往復する時間は、おもりの重さなどによっては変わらないが、振り子の長さによって変わることを理解している。
		思・判・表	振り子の運動の規則性について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。 振り子の運動の規則性について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。
		学び	振り子の運動の規則性についての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 振り子の運動の規則性について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。
9. 電磁石の性質	12	知・技	電流の流れているコイルは、鉄心を磁化する働きがあることを理解している。 電流の向きが変わると、電磁石の極も変わることを理解している。 電磁石がつくる磁力について、観察、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。 電磁石の強さは、電流の大きさや導線の巻数によって変わることを理解している。
		思・判・表	電磁石がつくる磁力について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。 電磁石がつくる磁力について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。
		学び	電流がつくる磁力についての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 電磁石がつくる磁力について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。
10. 人のたんじょう	9	知・技	人の発生や成長について、観察、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。 人は、母体内で成長して生まれることを理解している。
		思・判・表	人の発生や成長について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。 人の発生や成長について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。
		学び	人の発生や成長についての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 人の発生や成長について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。

令和7年度 評価規準

学校名：江戸川区立篠崎第二小学校

教科	理科	学年	6	
単元名		時数	単元のまとまりの評価規準	
1. ものの燃え方		9	知・技	<p>燃焼の仕組みについて、観察、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。</p> <p>植物体が燃えるときには、空気中の酸素が使われて二酸化炭素ができることを理解している。</p>
			思・判・表	<p>燃焼の仕組みについて、問題を見だし、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。</p> <p>燃焼の仕組みについて、観察、実験などを行い、物が燃えたときの空気の変化について、より妥当な考えをつくりだし、表現するなどして問題解決している。</p>
			学び	<p>燃焼の仕組みについての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとして燃焼の仕組みについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。</p>
2. 日光との関わり		5	知・技	<p>植物の体のつくりと働きについて、観察、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。</p> <p>植物の葉に日光が当たるとデンプンができることを理解している。</p>
			思・判・表	<p>植物の体のつくりと働きについて問題を見だし、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。</p> <p>植物の体のつくりと働きについて、観察、実験などを行い、体のつくりと葉で養分をつくる働きについて、より妥当な考えをつくりだし、表現するなどして問題解決している。</p>
			学び	<p>植物の体のつくりと働きについての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。</p> <p>植物の体のつくりと働きについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。</p>
3. 人やほかの動物の体のつくりとはたらき		12	知・技	<p>体内に酸素が取り入れられ、体外に二酸化炭素などが出されていることを理解している。</p> <p>人や他の動物の体のつくりと働きについて、観察、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。</p> <p>食べ物は、口、胃、腸などを通る間に消化、吸収され、吸収されなかった物は排出されることを理解している。</p> <p>血液は、心臓の働きで体内を巡り、養分、酸素及び二酸化炭素などを運んでいることを理解している。</p> <p>体内には、生命活動を維持するための様々な臓器があることを理解している。</p>
			思・判・表	<p>人や他の動物の体のつくりと働きについて、問題を見だし、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。</p> <p>人や他の動物の体のつくりと働きについて、観察、実験などを行い、体のつくりと循環の働きについて、より妥当な考えをつくりだし、表現するなどして問題解決している。</p>
			学び	<p>人や他の動物の体のつくりと働きについての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。</p> <p>人や他の動物の体のつくりと働きについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。</p>
			知・技	<p>根、茎及び葉には、水の通り道があり、根から吸い上げられた水は主に葉から蒸散により排出されることを理解している。</p> <p>植物の体のつくりと働きについて、観察、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。</p>

令和7年度 評価規準

学校名：江戸川区立篠崎第二小学校

4. 水との関わり	5	思・判・表	植物の体のつくりと働きについて、問題を見だし、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。
		学び	植物の体のつくりと働きについて、観察、実験などを行い、体のつくりと体内の水などの行方について、より妥当な考えをつくりだし、表現するなどして問題解決している。 植物の体のつくりと働きについての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。
5. 生物と地球環境	9	知・技	生物と周囲の環境について、観察、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。
			生物の間には、食う食われるという関係があることを理解している。
			生物は、空気を通して周囲の環境と関わって生きていることを理解している。
			生物は、水を通して周囲の環境と関わって生きていることを理解している。
思・判・表	生物と周囲の環境について見いだした問題について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。		
	生物と周囲の環境について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察する中で、生物と周囲の環境との関わりについて、より妥当な考えをつくりだし、表現するなどして問題解決している。		
学び	生物と周囲の環境についての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。		
	生物と周囲の環境について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。		
6. 月と太陽	8	知・技	月の形の見え方について、観察、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。
			月の輝いている側に太陽があること、また、月の形の見え方は、太陽と月との位置関係によって変わること理解している。
		思・判・表	月の形の見え方について見いだした問題について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。
			月の形の見え方について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察する中で、月の位置や形と太陽の位置との関係について、より妥当な考えをつくりだし、表現するなどして問題解決している。
学び	月の形の見え方についての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとし		
	月の形の見え方について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。		
7. 水と溶液の性質	10	知・技	水溶液の性質や働きについて、観察、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。
			水溶液には、気体が溶けているものがあることを理解している。
			水溶液には、酸性、アルカリ性及び中性のものがあることを理解している。
			水溶液には、金属を変化させるものがあることを理解している。
水溶液の性質や働きについて、観察、実験などを行い、溶けているものによる性質や働きの違いについて、より妥当な考えをつくりだし、表現するなどして問題解決している。			

令和7年度 評価規準

学校名：江戸川区立篠崎第二小学校

<p>1. 小まの板の道具</p>	<p>12</p>	<p>思・判・表</p>	<p>水溶液の性質や働きについて、問題を見だし、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。</p>
		<p>学び</p>	<p>水溶液の性質や働きについての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。</p>
<p>8. 土地のつくりと変化</p>	<p>13</p>	<p>知・技</p>	<p>土地は、礫、砂、泥、火山灰などからできており、層をつくって広がっているものがあること、また、層には化石が含まれているものがあることを理解している。</p>
		<p>思・判・表</p>	<p>土地のつくりと変化について、観察、実験などを行い、土地のつくりについて、より妥当な考えをつくりだし、表現するなどして問題解決している。</p>
		<p>学び</p>	<p>土地のつくりと変化についての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。</p>
<p>9. てこのはたらき</p>	<p>11</p>	<p>知・技</p>	<p>てこの規則性について、観察、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。</p>
		<p>思・判・表</p>	<p>てこの規則性について、問題を見だし、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。</p>
		<p>学び</p>	<p>てこの規則性についての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。</p>
		<p>知・技</p>	<p>電気は、つくりだすことができることを理解している。</p>
			<p>電気は、蓄えることができることを理解している。</p>
			<p>電気は、光、音、熱、運動などに変換することができることを理解している。</p>

令和7年度 評価規準

学校名：江戸川区立篠崎第二小学校

10. 私たちの生活と電気	11	知・技	電気の性質や働きについて、観察、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。 身の回りには、電気の性質や働きを利用した道具があることを理解している。
		思・判・表	電気の性質や働きについて、問題を見だし、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。 電気の性質や働きについて、観察、実験などを行い、電気の量と働きとの関係について、より妥当な考えをつくりだし、表現するなどして問題解決している。
		学び	発電についての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 電気の性質や働きについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。
11. かけがえのない地球環境 ～共に生きる～	7	知・技	生物と地球環境について、観察、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。 人は、環境と関わり、工夫して生活していることを理解している。
		思・判・表	生物と地球環境について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察する中で、生物と地球環境との関わりについて、より妥当な考えをつくりだし、表現するなどして問題解決している。
		学び	生物と地球環境についての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとし 生物と地球環境について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。